

袖ヶ浦市 財政状況

～ 令和5年度下半期における予算の執行状況 ～

令和6年5月1日

袖ヶ浦市 財政部 財政課

目 次

I	はじめに	・・・	2 ページ
II	収入及び支出の概況	・・・	3 ページ
III	市民の負担の状況	・・・	7 ページ
IV	公営企業会計の経理の概況	・・・	8 ページ
V	財産、公債及び一時借入金の現在高	・・・	9 ページ

I はじめに

この書類は、地方自治法第243条の3及び袖ヶ浦市財政状況の公表に関する条例の規定に基づき、令和5年度予算について、令和6年3月31日現在の収入及び支出の状況、財産や公債の残高の状況等について、公表するために作成したものです。

地方自治法 抜粋
(財政状況の公表等)

第二百四十三条の三 普通地方公共団体の長は、条例の定めるところにより、毎年二回以上歳入歳出予算の執行状況並びに財産、地方債及び一時借入金の現在高その他財政に関する事項を住民に公表しなければならない。

※表示単位について

- 金額については見やすさ、分かりやすさを重視し、本文中の各表、各グラフについては、それぞれ円単位、千円単位、万円単位のいずれかで表記しています。
- 表記未満の端数については、原則として項目ごとに四捨五入処理しているため、合計額・差引額欄の数値と、各項目数値の合計・差し引きが一致しない場合があります。

Ⅱ 収入及び支出の概況

1 一般会計及び特別会計

(1) 予算の状況

令和6年3月31日現在の一般会計と特別会計における令和5年度予算額は次のとおりです。

会計名	当初予算額	補正予算額	予算現額
一般会計	283億2,000万円	20億6,194万円	303億8,194万円
特別会計	119億5,900万円	▲1億9,948万円	117億5,952万円
国民健康保険	62億300万円	▲2,152万円	61億8,148万円
後期高齢者医療	8億1,200万円	1,532万円	8億2,732万円
介護保険	49億4,400万円	▲1億9,328万円	47億5,072万円

一般会計・・・ 地方公共団体の行政運営の基本的な経費、重要な経費を計上している会計をいいます。

特別会計・・・ 特定の目的のために設けられた会計をいいます。袖ヶ浦市では3会計が法律または条例で設置されています。

補正予算・・・ 予算の編成後に生じた理由によって、既決予算に追加・変更をする必要がある場合、議会の議決を経て成立します。

(2) 歳入歳出の執行状況等

【一般会計】

令和5年度の一般会計予算は、283億2,000万円で成立後、9回の補正予算を組み、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業費などを含む20億6,194万3千円を増額して、総額を303億8,194万3千円とし、当初予算から約7.3%の増となりました。

令和6年3月31日における執行状況は、収入済額で271億5,245万円、予算に対する収入割合で89.4%、支出済額で259億5,416万円、予算に対する支出割合で85.4%となっています。

なお、令和5年度予算の収入・支出は、出納整理のため令和6年5月31日まで引き続き行われます。

<主な補正内容>

一般会計補正予算で行った主な事業は、次のとおりです。

○補正増

物価高騰緊急支援給付金事業	8億3,685万円増
財政調整基金積立金	4億804万円増
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業	1億7,405万円増
中学校環境整備事業	1億2,848万円増
子ども応援臨時給付金事業	1億1,754万円増

○補正減

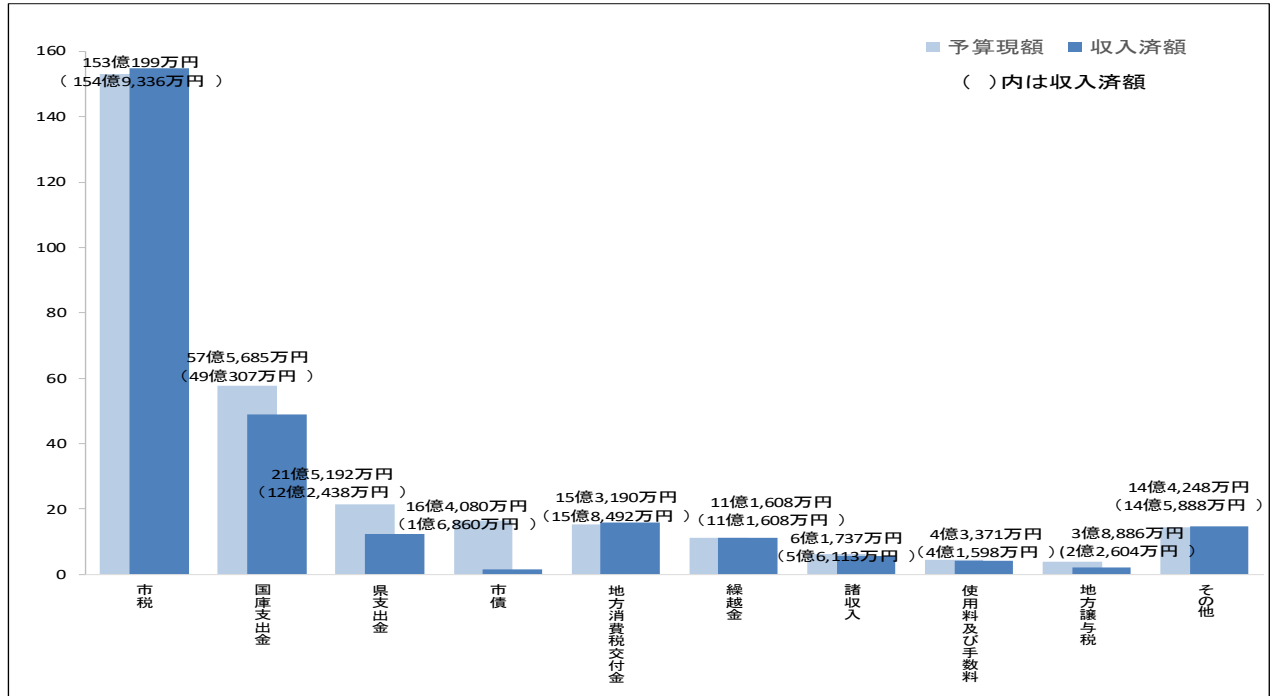
新型コロナウイルスワクチン接種事業	7,437万円減
庁舎管理費	6,199万円減
地域型保育給付事業	4,324万円減
介護保険特別会計繰出金	4,008万円減
公立保育所一般管理事業	3,792万円減

<執行状況>

歳入

予算現額 303億8,194万円 収入済額 271億5,245万円

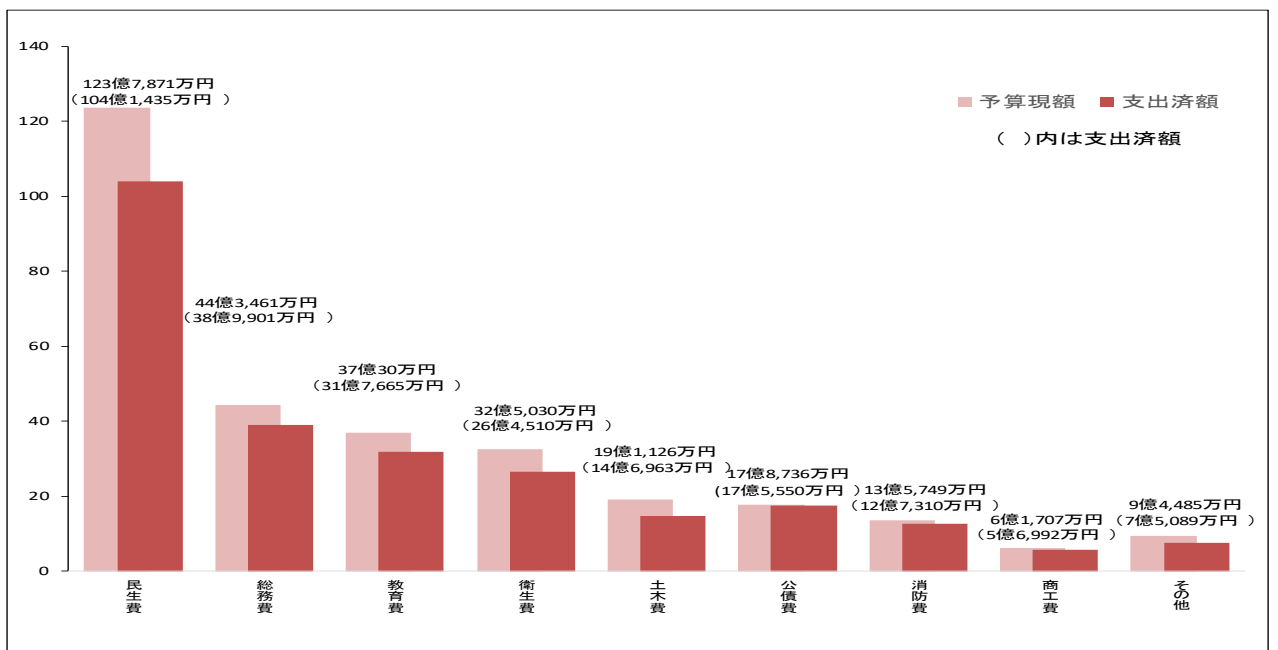
収入率 89.4%



歳出

予算現額 303億8,194万円 支出済額 259億5,416万円

執行率 85.4%



【特別会計】

3つの特別会計の総予算は、当初119億5,900万円で成立後、補正予算で1億9,948万円の減額を行い、予算現額は117億5,952万円となっています。

各特別会計の令和6年3月31日における執行状況等は、次のとおりです。

<執行状況>

特別会計	予算現額	収入済額 (収入割合)	支出済額 (支出割合)
国民健康保険	61億8,148万円	55億8,724万円 (90.4%)	57億5,436万円 (93.1%)
後期高齢者医療	8億2,732万円	6億9,294万円 (83.8%)	7億938万円 (85.7%)
介護保険	47億5,072万円	45億6,531万円 (96.1%)	42億3,606万円 (89.2%)

<主な補正内容>

特別会計補正予算で行った主な事業は、次のとおりです。

○国民健康保険特別会計

国保事務費	1,446万円増
一般被保険者療養給付費	3,183万円減

○後期高齢者医療保険特別会計

後期高齢者医療広域連合納付金	1,821万円増
一般職人件費	228万円減

○介護保険特別会計

介護給付費準備基金積立金	3,480万円増
介護サービス等諸費	2億円減

Ⅲ 市民の負担の状況

市税は、市政運営のために欠くことのできない財源であり、歳入予算総額の50.4%を占めています。令和6年3月末の予算額でみますと、市税の予算現額は153億199万円となっています。これを令和6年3月末の住基人口及び世帯数で割りますと、市民1人あたり231,704円、1世帯あたり515,271円の負担となります。

区 分	予算現額	構成比%	予算現額負担状況	
			1人当たり	1世帯当たり
市民税	54億2,430万円	35.4	82,135円	182,655円
固定資産税	85億6,241万円	56.0	129,653円	288,326円
軽自動車税	2億394万円	1.3	3,088円	6,867円
市たばこ税	5億2,500万円	3.4	7,950円	17,679円
都市計画税	5億8,185万円	3.8	8,810円	19,593円
入湯税	450万円	0.0	68円	152円
合 計	153億199万円	100.0	231,704円	515,271円
総人口	66,041 人		(令和6年3月31日現在)	
世帯数	29,697 世帯			

また、歳出予算における目的別経費でみますと、歳出合計の市民1人あたりの金額は460,047円、1世帯あたり1,023,064円となっています。なお、目的別経費と市税負担額の差額は、国庫支出金や市債等の市税以外の歳入で対応しています。

区 分	予算現額	構成比%	予算現額負担状況	
			1人当たり	1世帯当たり
民 生 費	123億7,871万円	40.7	187,440円	416,834円
総 務 費	44億3,461万円	14.6	67,149円	149,329円
教 育 費	37億30万円	12.2	56,030円	124,602円
衛 生 費	32億5,030万円	10.7	49,216円	109,449円
土 木 費	19億1,126万円	6.3	28,941円	64,359円
公 債 費	17億8,736万円	5.9	27,064円	60,186円
消 防 費	13億5,749万円	4.5	20,555円	45,711円
商 工 費	6億1,707万円	2.0	9,344円	20,779円
農林水産業費	5億9,913万円	2.0	9,072円	20,175円
そ の 他	3億4,572万円	1.1	5,235円	11,642円
合 計	303億8,194万円	100.0	460,047円	1,023,064円
総人口	66,041 人		(令和6年3月31日現在)	
世帯数	29,697 世帯			

IV 公営企業会計の経理の概況

【下水道事業会計】

(1) 予算の状況

令和6年3月31日現在の下水道事業会計における令和5年度予算額は次のとおりです。

会 計 名		当初予算額	補正予算額	予算現額
下 水 道 事 業 会 計	収 入	19億8,200万円	5,775万円	20億3,975万円
	支 出	23億6,900万円	▲2,836万円	23億4,064万円
収益的収支	収 入	17億7,700万円	7,505万円	18億5,205万円
	支 出	16億6,700万円	▲1,073万円	16億5,627万円
資本的収支	収 入	2億500万円	▲1,730万円	1億8,770万円
	支 出	7億200万円	▲1,763万円	6億8,437万円

(2) 歳入歳出の執行状況

下水道事業会計の予算執行状況は次のとおりです。

なお、表に使われている収益的収支とは、経常的な営業活動部門の収入、支出をいい、資本的収支とは、それら営業活動に必要な施設の建設改良、機器の調達等に係る収入、支出をいいます。

区 分		予算現額	収入・支出済額 (収入・支出割合)
収益的収支	収入	18億5,205万円	18億6,022万円 (100.4%)
	支出	16億5,627万円	16億499万円 (96.9%)
資本的収支	収入	1億8,770万円	1億7,620万円 (93.9%)
	支出	6億8,437万円	6億6,990万円 (97.9%)

V 財産、公債及び一時借入金の現在高

(1) 財産の状況

市が所有している土地、建物、車輛の状況は次のとおりです。

区 分	面 積 ・ 台 数
土 地	2,523,541㎡
建 物	198,570㎡
車 輜	174台

(2) 基金の状況

基金とは、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するためのもので、条例により目的、処分等が定められています。その中で「財政調整基金」とは、不況による大幅な税収減や災害の発生による思わぬ支出など、予期できない収入減少や支出増加に対応するため、余裕のある年度に資金を積み立て、資金が不足する年度に取り崩して、財源に充てるものです。

基 金 の 種 類	基 金 残 高
一 般 会 計	51億1,169万円
財政調整基金	30億1,902万円
その他基金	20億9,268万円
特 別 会 計	8億3,936万円
合 計	59億5,105万円

(3) 市債及び一時借入金の状況

学校、公園、清掃施設など大規模な建設事業は、その年度の財源のみでは計画的な整備を推進することができません。

そこで市は、財務省・銀行などから資金の長期借入をします。これを市債（公債）といいます。これらの施設は、将来の市民も利用することになりますので、世代間の負担の公平を図ることができ、インフラや公共施設の早急な整備が可能となります。

会 計	市 債 残 高
一 般 会 計	155億1,769万円
下 水 道 事 業 会 計	51億6,744万円

また、会計年度において歳計現金に不足を生ずる場合に金融機関等からの借り入れを行う一時借入金残高はありません。